

学協会ワークショップ

4学協会で建築物の保存と活用の実現方策づくり

4学協提言について山形県文化財活用課との話し合い(21年11月15日)



4学協提言について山形市との話し合い(21年11月9日)



主催：日本建築学会東北支部山形支所
共催：日本建築家協会東北支部山形地域会
山形県建築士会山形支部
山形県建築士事務所協会
後援：山形県教育委員会



旧師範学校木造講堂(右)と教育資料館(左)

2月5日(土) 14:00~16:00
場所：県立図書館遊学館3階会議室

ワークショップの進め方

14:00 - 14:20 県・市の提供情報、資料説明
14:20 - 15:00 3グループでワークショップ
15:00 - 15:50 全体ワークショップ
15:50 - 16:00 まとめ

- WS1 旧山形師範学校木造講堂の保存と活用の実現に向けて
- WS2 文翔館－旧師範学校の通りと周辺地区計画に向けて
- WS3 空家活用に向けて制度、事業提案：リノベ工事届；補助と誘導；一般制度へ

2018AIJ山形支所WS概要

事例報告・問題提起：水戸部裕行

WS1(耐震診断・伝統的木造建築物)：五十嵐 庄七

WS2(耐震補強・構造)：藤原 薫

WS3(保全活用計画)：安達和之
全体討論(司会)：相羽康郎

2019学協会WS概要

旧師範学校木造講堂の構造補強方法を概算コストも含め比較検討。講堂は教育資料館、中庭等と一体の利用方策、文翔館周辺までを歴史エリアとして整備構想が必要と、2020年度見学とWSに継承した。空き家リフォームの記録を作成することで市場価値に反映される措置の必要性を確認。

2020学協会WS概要

文翔館と旧師範学校をつなぐ三島通りと周辺地区を見学後、文翔館で3テーマのワークショップを行った。旧師範学校は外部を生かし内部補強を将来取り外し可能な鉄骨補強とし活用する。三島通り周辺地区の計画の必要性と市計画への位置づけ。空き家リフォームに関して既存住宅調査、建設業許可業者の必要性など消費者保護の事業・制度を提案した。

問合せ先：日本建築学会東北支部山形支所長 相羽康郎
：メール yaaiba.yasuo@gmail.com